

## 新たな国土形成計画の策定にあたって

現在、国土の利用、整備、保全を推進するための総合的かつ基本的な計画である新たな「国土形成計画」の策定に向け、活発な審議が行われている。

全国知事会としては、分権と多様化による、日本再生のためのグランドデザインを「日本再生デザイン」として平成25年11月に取りまとめたところである。

これまで、国土形成計画の策定過程においては、「日本再生デザイン」を参考にいただき、その趣旨が対流促進型国土の形成や東京一極集中の是正といった形で盛り込まれつつあることを評価する。今後とも「国土形成計画（全国計画）」、及び各圏域の「広域地方計画」において「日本再生デザイン」が十分反映されるよう配慮していただきたい。

また、現在、人口減少社会に対応し、地域を新しく創り変え、日本全体を変えていく「地方創生」の取り組みを、国と一体となって各地域が取り組んでいるところである。全国知事会としても昨年秋に「地方創生のための提言」を行ったが、「地域の自主性・独自性」「地域間連携」といった提言の基本姿勢についても同様に尊重されたい。

今後とも全国計画及び広域地方計画策定にあたっては全国知事会及び各都道府県の意見を十分聴くとともに、各計画に反映されるよう配慮いただきたい。

さらに、国土形成計画の実行にあたっては、成長戦略と災害時における代替性確保の双方の観点から、国土を貫く複数の軸と地域間ネットワークの形成の重要性を十分に踏まえた国土づくりが不可欠であり、今後、そうした取組を強く推し進めていただきたい。

平成27年4月24日

全国知事会「日本のグランドデザイン構想会議」座長  
岐阜県知事 古田 肇